

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 鈴木 深由希

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	印	経理責任者	
視 察 議 員	鈴木 深由希			
期 間	令和元年6月6日（木）			
視 察 先	ワークピア広島			
視 察 用 務	地方議員研究会研修			
視察先対応者	自治体経営コンサルタント：川本達志			
概要及び所見	<p>『私がうなった質問はこれだ！！』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会での困りごとが増加⇒政治の仕事</li> <li>・質問の3つのタイプ：自己主張型・課題、責任追求型・政策提案型</li> <li>・まず現状認識・・・問題をはらんだ。</li> <li>・次に課題認識・・・共感⇒テーマは続ける！</li> <li>・仮説（こうしたら解決するのでは？）・・・受け売りは仮説ではない。</li> <li>・検証・・・理解・納得を生むプロセス。</li> <li>・提案・・・財源を示せ。</li> </ul> <p>※議会が機関としての政策的意思を持つ・総合計画の対案を作る。</p> <p>【所見】3つの質問のタイプがある、自分は？ミックスの様でもある。ヒアリングは勿論、必ず事実確認。小腸発表のデータは重要。市民の視点に立ったものであること。答弁にある「検討します」は部内検討を張ったら歌詞にされる可能性があるので、時期をみて進捗を確認して再度質問するように言われた。確かに、時々そうなることがある。「研究します」は事情が変わったり、問題状況が深まったら再度質問すると良いとのこと。これまた、経験した。平素、部局へ問い合わせしていても、一般質問することにより市民に周知できる利点がある。</p>			